

氏 名	所 属	職 位	学 位
北林 由紀子	看護学部 看護学科	教授	修士 (生体情報)
資 格			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師免許 ・ 保健師免許 ・ 中学校教諭一級免許 (保健) ・ 高等学校教諭二級免許 (保健、看護) ・ NPO 法人アクティブ・エイジング研究会理事 			
主 な 著 書 ・ 原 著 論 文			
年 度	タイトル (出版元又は掲載誌)		
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康づくりと健康寿命の延伸のために必要な複合運動の実践 ー ウェルビクス運動のすすめー 有限会社ナップ 130 頁 		
平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者における地域型運動の介入効果に関する研究 ー 運動効果の効果妥当性と季節差に関する研究ー 名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科 修士学位論文 全 45 頁 		
平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 軸加速度センサー搭載型活動量計の測定精度について 鹿屋体育大学学術研究紀要 第 47 号 PP. 13-20 		
平成 25 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ Effects of Nordic Walking compared to Conventional Walking and Band-Based Resistance Exercise on Fitness Older Adults 高齢者におけるノルディックウォーキングにバンドを用いたレジスタンス運動効果の比較 Journal of Sports Science and Medicine 2013 VOL.12,PP.422-430 		
平成 26 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民主導型による運動の継続率からみた運動教室の在り方に関する提言 日本介護福祉・健康づくり学会 研究 1 (2): PP. 1-4 		
平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ Decline in Age-associated Functional Fitness after a 10 year Peer-instructed Community-based Exercise Program 10 年間に亘る住民主導による地域型運動実施者の機能的体力の低下について International Journal of Sports and Health Science,accepted on June 30th,2015 日本体育学会 Vol.13:61-67,2015 		
平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域開催型ラジオ体操活動が高齢者の身体・心理社会面にもたらす効果 作業療法 34 : 393-402 2015 		

<p>平成 29 年度</p> <p>令和 2 年度</p> <p>平成 4 年度</p> <p>令和 4 年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Effects of 12 Weeks of Tai Chi Chuan Training on Balance and Functional Fitness in Older Japanese Adults 12 週間に亘る、邦人高齢者のバランス、機能的体力に基づく太極拳の運動効果について 『Sports』VOL. 5 ISSUE2, NO. 32, 2017. • 予防行動を実施できる感染症対策教育の検討 —新型コロナウイルス感染症に対する看護学生における認知度調査から— 中京学院大学(看護学部・短期大学部) 紀要 1 (1) • Association between static and dynamic balance ability in community-dwelling older female adults 地域在住高齢女性における静的バランスと動的バランスの関係性 Japanese Journal of Sports and Health Science 2022:44:11~19 • Qualitative assessment of standing motion with KinectTM is a useful additional diagnostic marker for sarcopenia サルコペニアの有用な追加診断マーカーであるキネクト<sup>TM</sup>による立位運動の定性的評価 Geriatrics & Gerontology international 2022
<p>所属学会</p>	
<ul style="list-style-type: none"> • 日本公衆衛生学会 • 日本体育・スポーツ・健康学会 • 日本介護・健康づくり学会 • 日本口腔ケア学会 • 日本在宅看護学会 • 日本在宅ケア学会 • 日本地域看護学会 • 日本体力医学会 • World Congress on Active Ageing • 愛知県看護協会 	

主な社会的活動	
年度	活動内容
平成23年11月	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人アクティブ・エイジング研究会で「口腔を清潔に保つことが長生きの秘訣」についての講演会を実施。その他、同法人の健康教室には毎年参加して集団で健康教室を実施。
平成24年3月 ～平成28年まで	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人アクティブ・エイジング研究会で、島根県のY市、鳥取県のK町、長野県のI市、福岡県のK町で高齢者の運動教室指導を毎年実施。
平成25年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・Japan-Bangladesh [Workshop on Cardio-Pulmonary Rehabilitation]平成25年4月29日、30日両日 1日目：Ad-din Womens Medical College & Hospital にて。 2日目：Khwaja Yunus Ali Medical College & Hospital にて。 手術後の呼吸管理のトレーニングを理学療法士と現地の資格を持つ日本在住の医師とともに、女子大医学生や看護師、若い医師等実践し講演を行う。
平成29年5月 ～11月まで	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回介護福祉・健康づくり学会における準備委員を実施。学会は、平成29年11月11日～12日、朝日大学にて開催。